

第33回 川北まつり 手取の火まつりを開催



燃え盛る大かがり火と太鼓乱打

川北町商工会だより

発行所
川北町商工会
能美郡川北町一ツ屋93
TEL 076-277-2133

手取亢龍太鼓の皆さん



第33回川北まつり「手取の火まつり」が、8月4日手取川簡易グラウンドで開催され、今年もまつりのシンボルである高さ46メートルの「大かがり火」の炎が夏の夜空を焦がした。

当日は13時からの恒例「鮎のつかみどり」から始まった。グラウンドではバザーの露店がにぎわい、夕刻、いよいよ音と光の祭典が幕を開けた。オープニングの和太鼓フェスティバルでは「虚空蔵飛輪太鼓」「金沢百萬石太鼓」「打族」に加え、「比叡河撫子舞」によるよさこいがまつりに華を添えた。そして夕暮れ迫る頃、

第33回川北まつり「手取の火まつり」が手取亢龍太鼓の力強い演奏で開幕となった。「川北まつり」の火文字に点火されると、町民と観客が参加した送り火行列が東西から会場に流れ込み、夕やみに赤いともし火を添えた。そして川倉の火に火が入り、町内地区の虫送り太鼓の競演が行われると会場の熱気はさらに高まった。



地元出店バザーの様子

いよいよメインの大かがり火への点火。虫送り太鼓の乱打の音が響く中、赤い大きな炎は渦を巻きながら頂点へ駆けあがり、一気に大かがり火を包み込み、会場は川北まつり最高潮の盛り上がりとなった。

北國大花火川北大会では、10号玉の芸術花火やスターメインパレード、フィナーレにはあばれ川県民花火2000連発など2万発の多彩な花火が打ち上げられ、観客を魅了した。

また、翌日は早朝から会場内のゴミの清掃やかがり火の片付けに汗を流した。会員の皆様のご協力のおかげで事故もなく、33回目のまつりも無事終了することができました。本当にありがとうございました。



渦巻く炎の大かがり火



完成した大かがり火と川倉の火

川北まつりから遡ること1週間前の土曜日。7月28日の早朝6時半より会員は製材コアの束ね作業に汗を流した。引き続き大かがり火・かがり火委員が中心となり、丸一日をかけて大かがり火の芯となる鋼管に柴や竹を巻きつける作業が行われた。

直前に通過した台風の影響か、朝から気温上昇した8月1日、建立作業では会員・町関係者約100名が参加し、作業の安全とまつりの成功祈願を行った後、作業にとりかかった。柴や竹を巻きつけた鋼管3本をクレーンで縦につなぎ合わせた、高さ約46mの「大かがり火」と丸太で組んだイゲタを三又の柱に乗せた「川倉の火」は無事に完成した。休憩所内温度計は一時、37.2℃まで上昇し、作業する方々を苦しめたが、熱中症による傷病者を出すことなく、皆様のおかげで無事作業を終えることができた。お疲れさまでした。

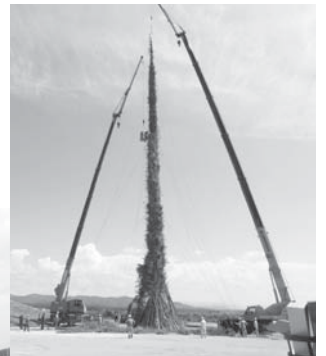
大かがり火・かがり火の建立作業

7月初旬、70名の会員の方々が大かがり火・かがり火委員として委嘱された。まずは6月29日、作業責任者達が集まり、作業日程や重機等手配の確認が行われた。そして、7月19日には委員36名が集まり、大かがり火・かがり火委員会が開催され、作業内容や手順の確認作業を行った。また今年は、稀にみる酷暑となり、作業中の熱中症対策も



川倉の火を制作する皆さん

大かがり火コアの巻きつけ作業の様子



クレーン使用の高所作業の様子

川北町観光物産協会総会

「いちじく太鼓」をPR

川北町観光物産協会の総会が、6月28日に開催され、平成30年度の事業計画などを原案通り承認決定した。

本年度事業として「味噌豚どん」や地ビールによる川北町のPRの他、昨年度女性部が開発した「いちじく太鼓」のチラシや手提げ袋で普及宣伝をしていくことが決まった。



もんじゅの会

7月例会（京都）

7月11日から12日にかけてもんじゅの会7月例会を京都にて行った。当初予定していた2月は大雪により中止となり、今回も「平成30年7月豪雨」の影響により実施が危ぶまれたが、当日は天候にも恵まれ、伏見稲荷大社や京都御所などを巡ることができた。

平成28年夏より、通年公開となった京都御所には、外国人の方の姿も多く見られ、神社仏閣とはまた異なる厳かなひとときを体感することができた。

京都御所 紫宸殿前にて





銀賞 実行委員長賞

富岡由衣さん (川北小)



金賞 北國新聞社長賞

森田智也さん (橘小)



特選 大会長賞

向 和寿さん (中島小)

まつり絵画コンテスト

13日
の
展
示
さ
れ
た。

子
供
た
ち
の
絵
は、
7
月
13
日
か
ら
8
月
4
日
ま
で
行
燈
の
中
絵
と
し
て、
役
場
前
の
か
が
り
火
ロ
ー
ド
沿
い
に
展
示
さ
れ
た。

佳作

社
長
賞
に
森
田
智
也
さ
ん
(
橘
小
)、
銀
賞
「
実
行
委
員
長
賞
」
に
富
岡
由
衣
さ
ん
(
川
北
小
)
が
選
ば
れ
た。
そ
の
他
入
賞
さ
れ
た
方
々

まつり絵画コンテストが6月20日に行われ、川北町各校下の小学校6年生103名が描いた絵が審査の結果、特選「大会長賞」に向 和寿さん(中島小)、金賞「北國新聞社長賞」に森田智也さん(橘小)、銀賞「実行委員長賞」に富岡由衣さん(川北小)が選ばれた。その他入賞された方々

健康管理も貯蓄共済で

ご存知
ですか？

商工貯蓄共済 人間ドック助成金

◎条件◎

商工貯蓄共済制度に10口以上加入し、
掛金延滞のない方

◎内容◎

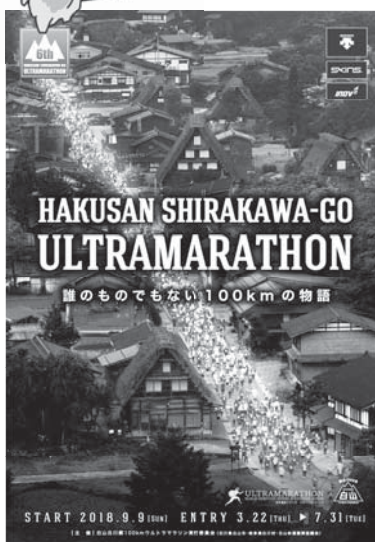
人間ドックの検診費用が年1回

最高 **10,000** 円まで助成されます。
(日帰りの場合は3,000円)

詳しくは商工まで・・・



100kmウルトラマラソン 川北町で応援しよう！



第6回目を迎えた「白山白川郷100kmウルトラマラソン」が、9月9日(日)に開催される。岐阜県白川を午前5時にスタート、ホワイトロードを抜け、手取川沿いに南下し、松任総合運動公園にゴール。総延長100km、標高差1450mという過酷な大会だ。そんな過酷なコースにも関わらず、山岳観光道路を抜け、手取川から日本海まで変わりゆく景色が楽しめる

全国から約100人ものランナーが集まる大会となっている。この過酷なレースを支えるのがポイントごとに置かれる「給水所」で、川北町では川北大橋と川北町保健センターの2カ所に開設され、青年部と女性部がボランティアスタッフとして協力します。また、その際にイチジクといちじく太鼓をランナーに提供する予定。通過予定時刻などは次の通りとなっていますので、皆様の応援をお願い致します。

◇川北大橋
10時20分～16時
◇川北町保健センター
10時40分～16時30分



仕事休もっ化計画 始動！

会社の夏季休暇に
年休をプラスして
連続休暇を
取得しよう。



☆お問い合わせは、川北町商工会（277-2133）まで

23 中部ブロック商工会
24 女性部連合会交流研修会
24 商工会幹部役員研修会

A cartoon illustration of a young boy lying on his stomach on the floor, looking distressed with sweat drops on his forehead. A large electric fan is positioned behind him, and a glass of juice with a straw is on the floor to his left.

借入申込みは毎月10日まで